

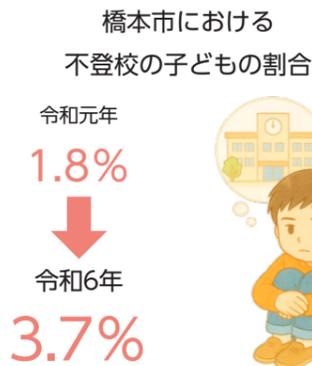
特集

不登校支援

子どもたちに、安心できる居場所を



多様化する社会の中、子どもたちが抱える問題や悩みは複雑になってきています。「病気や経済的な理由を除く何らかの理由で、長期間学校に行けない状態（不登校）」は、どの家庭にもいつでも起こり得る身近な問題です。今回は、市内で不登校に悩むご家庭や子どもを支援する場を紹介します。【学校教育課】



不登校の現状

不登校で悩む児童生徒は全国的に増加傾向にあり、本市でも直近6年間で不登校の割合が2倍以上と、大きく増えてきています。不登校の要因はさまざまで、「何となく学校に行きたくない」という不安や無気力感、友人関係や勉強の悩み、親子関係や生活リズムの乱れなど家庭環境によるものなど、多岐にわたります。また、最近ではSNSの普及などが新たな心理的ストレスの要因として浮かび上がってきています。

そのほか、現在は市が提供するオンラインでの学習支援や、民間が運営するフリースクールなど、さまざまな選択肢の中から子どもの個性に合わせた支援を受けることができます。

↓6・7ページで紹介

また、登校が困難な子どもの居場所として「憩の部屋」を開室し、学校復帰や社会的な自立に向けた支援を行っています。

↓4・5ページで紹介

市では児童生徒や保護者、学校関係者からのさまざまな相談を受け付ける場として、教育支援センターを設置しています。ここでは、不登校、いじめ、発達障害、進路、学校生活など、教育に関する悩みや困り事について、心理士や教員OBなどが相談に応じています。

子どもが不登校になったとき、相談をしたり支援を受けたりできる場があります。

一人ひとりに合った支援を

今月のかけ橋人

尺八の音色を世界へ



女性ソロ尺八奏者として、その魅力を世界へ発信
辻本 好美さん（尺八奏者）

父が尺八が好きで、私が物心つくころから日常の中に尺八の音があり、遊び道具の1つのような感覚で尺八に接してきました。

今は和楽器の演奏家として活動していく中で、自然と日本の文化に触れることも多く、日本人としてのアイデンティティを強く抱くようになってきた感覚があります。また、それを発信できる立場に自分がいられることを誇りに思っています。

演奏家として、多くの人と巡り会える機会があるので、今後もその縁を拡げていきたいです。そして観光振興アドバイザーとして、橋本市を和楽器などの文化の力で活気づけ、元気にしていきたいと思います。

目次

- 3 特集 不登校支援
- 8 情報ワイド
 - ▶ 避難行動要支援者登録制度
 - ▶ 定額減税補足給付金（不足額給付）
 - ▶ 市の農業補助制度をご活用ください
 - ▶ 乳がんの集団検診を実施します など
- 13 情報ひろば
- 20 タウン情報
- 21 子育てぱーく
- 22 本のひろば
- 23 健康カレンダー
- 24 フォトピックス

今月の表紙



不登校支援に携わる、フリースクールと教育支援センターの皆さん。